

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年4月14日
【四半期会計期間】	第104期第3四半期（自平成26年12月1日至平成27年2月28日）
【会社名】	小津産業株式会社
【英訳名】	OZU CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中田 範三
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町三丁目6番2号
【電話番号】	03(3661)9400
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 稲葉 敏和
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋本町三丁目6番2号
【電話番号】	03(3661)9400
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 稲葉 敏和
【縦覧に供する場所】	小津産業株式会社大阪支店 （大阪府大阪市中央区瓦町二丁目3番10号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第103期 第3四半期 連結累計期間	第104期 第3四半期 連結累計期間	第103期
会計期間	自平成25年6月1日 至平成26年2月28日	自平成26年6月1日 至平成27年2月28日	自平成25年6月1日 至平成26年5月31日
売上高 (千円)	29,515,265	29,043,840	39,242,257
経常利益 (千円)	501,657	562,479	545,760
四半期(当期)純利益 (千円)	307,451	377,689	342,980
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	248,167	746,564	332,790
純資産額 (千円)	11,614,974	12,345,393	11,699,482
総資産額 (千円)	20,597,033	22,113,927	20,578,857
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	36.75	45.15	41.00
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	56.4	55.8	56.9

回次	第103期 第3四半期 連結会計期間	第104期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成25年12月1日 至平成26年2月28日	自平成26年12月1日 至平成27年2月28日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	10.84	9.45

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定及び締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融政策の効果および円安の進行による企業収益の改善等が見られ、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、消費増税に伴う駆け込み需要の反動による個人消費の減退傾向は長期化しており、依然として回復には至っていないものの、その影響は徐々に和らぎつつあります。海外におきましては、中国景気の減速感やユーロ圏経済の停滞感が続いているものの、米国経済の安定的な成長ペースに牽引され、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループといたしましては、引き続き「海外戦略の強化」、「新事業・新商品の創出」、「コンバーター機能の強化・拡充」、「グループ各社の連携強化」、「人材育成」という中長期的な経営戦略に基づき営業活動を展開してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は290億43百万円（前年同期比1.6%減）、経常利益は5億62百万円（前年同期比12.1%増）、四半期純利益は3億77百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の状況は以下のとおりであります。

(不織布事業)

エレクトロニクス分野では、スマートフォン、タブレット端末用途および電装化が進む自動車関連用途のデバイス産業向けの販売が引き続き好調に推移しているものの、デジタルカメラ用途の販売低迷等の影響を受け、ほぼ横ばいで推移いたしました。

コスメティック分野では、中国市場向けおよび国内市場向けの販売が引き続き好調に推移いたしました。

メディカル分野では、中国市場向け商品の一部が回復基調を維持しているものの、医療用ガーゼの販売が低迷し、ほぼ横ばいで推移いたしました。

小津（上海）貿易有限公司では、デジタルカメラ用途の販売が低迷しているものの、コスメティック分野の販売が伸長し、前年同期を上回りました。

ウェットティッシュ等の製造販売を営む株式会社ディプロでは、除菌用途の商品が好調なものの、小売業向けのPB商品の生産出荷数が低迷し、売上高は微減となりました。利益面につきましては、売上総利益率が若干低下したこともあり、前年同期を下回りました。

アグリ分野を担う日本プラントシーダー株式会社では、昨年初めに発生した関東・甲信地方における降雪被害や昨年夏における豪雨長雨被害の影響の長期化により、売上高、利益面ともに減少いたしました。

これらの結果、売上高は105億57百万円（前年同期比3.0%増）、セグメント利益は5億95百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

(家庭紙・日用雑貨事業)

アズフィット株式会社が営む家庭紙・日用雑貨事業では、消費増税に伴う駆け込み需要があったものの、その後の反動による消費低迷の長期化や顧客である小売業界における経営統合および業務・資本提携の動きに伴う商流変更の影響が強まり、厳しさを増す事業環境において販売が伸び悩み、売上高、利益面ともに前年同期を下回りました。

これらの結果、売上高は184億57百万円（前年同期比4.1%減）、セグメント損失は77百万円（前年同期は41百万円のセグメント損失）となりました。

(その他の事業)

その他の事業では、売上高は28百万円（前年同期比10.9%増）、セグメント損失は1百万円（前年同期は2百万円のセグメント利益）となりました。

(注) 日本プラントシーダー株式会社およびアズフィット株式会社の決算期は2月末日のため、当第3四半期連結累計期間には各社の平成26年3月から平成26年11月の実績が、株式会社ディプロの決算期は3月末日のため、当第3四半期連結累計期間には同社の平成26年4月から平成26年12月の実績が反映されております。

(2) 財政状態の分析

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて15億35百万円増加し、221億13百万円となりました。主な要因は、「受取手形及び売掛金」の増加14億25百万円、「投資有価証券」の増加5億74百万円、「現金及び預金」の減少4億21百万円であります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて8億89百万円増加し、97億68百万円となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加7億79百万円、「繰延税金負債」の増加1億93百万円であります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて6億45百万円増加し、123億45百万円となりました。主な要因は、「利益剰余金」の増加2億77百万円、「その他有価証券評価差額金」の増加3億62百万円であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、25百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループ全体の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成27年2月28日)	提出日現在発行数(株) (平成27年4月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,435,225	8,435,225	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	8,435,225	8,435,225	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年12月1日～ 平成27年2月28日	-	8,435	-	1,322,214	-	1,374,758

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年11月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成27年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 70,400	-	単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,359,100	83,591	同上
単元未満株式	普通株式 5,725	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	8,435,225	-	-
総株主の議決権	-	83,591	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の中には、証券保管振替機構名義の株式が100株(議決権の数1個)含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成27年2月28日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
小津産業株式会社	東京都中央区日本橋本町三丁目6番2号	70,400	-	70,400	0.83
計	-	70,400	-	70,400	0.83

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年12月1日から平成27年2月28日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年6月1日から平成27年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,604,486	3,182,830
受取手形及び売掛金	6,395,684	7,821,224
商品及び製品	1,795,825	1,690,917
原材料	403,155	428,423
繰延税金資産	105,980	54,924
その他	511,753	492,529
貸倒引当金	12,335	13,449
流動資産合計	12,804,549	13,657,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,578,630	5,739,883
減価償却累計額	3,638,800	3,719,828
建物及び構築物(純額)	1,939,830	2,020,054
機械装置及び運搬具	1,064,579	1,176,053
減価償却累計額	947,600	996,265
機械装置及び運搬具(純額)	116,979	179,787
土地	1,785,186	1,785,186
リース資産	87,581	81,490
減価償却累計額	54,342	57,490
リース資産(純額)	33,238	23,999
建設仮勘定	406,337	434,597
その他	333,019	343,446
減価償却累計額	274,904	292,688
その他(純額)	58,114	50,758
有形固定資産合計	4,339,686	4,494,385
無形固定資産		
のれん	22,055	-
その他	325,471	309,577
無形固定資産合計	347,527	309,577
投資その他の資産		
投資有価証券	2,505,753	3,079,944
長期貸付金	14,627	12,145
繰延税金資産	34,543	30,939
その他	558,723	538,390
貸倒引当金	26,554	8,855
投資その他の資産合計	3,087,094	3,652,564
固定資産合計	7,774,307	8,456,526
資産合計	20,578,857	22,113,927

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,268,443	5,047,868
短期借入金	870,000	790,000
1年内返済予定の長期借入金	50,000	-
リース債務	12,828	9,683
未払法人税等	150,920	81,553
賞与引当金	46,761	50,729
役員賞与引当金	1,100	-
厚生年金基金解散損失引当金	58,879	-
その他	730,990	921,279
流動負債合計	6,189,924	6,901,113
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	900,000	920,000
リース債務	21,916	15,282
繰延税金負債	466,255	659,441
役員退職慰労引当金	152,523	130,571
退職給付に係る負債	92,148	92,761
その他	56,605	49,364
固定負債合計	2,689,450	2,867,420
負債合計	8,879,374	9,768,534
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,374,967	1,374,967
利益剰余金	8,291,947	8,569,258
自己株式	82,847	83,122
株主資本合計	10,906,281	11,183,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	788,142	1,151,039
為替換算調整勘定	5,058	11,036
その他の包括利益累計額合計	793,200	1,162,075
純資産合計	11,699,482	12,345,393
負債純資産合計	20,578,857	22,113,927

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
売上高	29,515,265	29,043,840
売上原価	25,031,870	24,670,945
売上総利益	4,483,394	4,372,895
販売費及び一般管理費	4,012,090	3,880,096
営業利益	471,304	492,798
営業外収益		
受取利息	2,018	2,284
受取配当金	44,571	44,598
持分法による投資利益	-	1,439
為替差益	-	34,650
その他	16,379	13,722
営業外収益合計	62,968	96,695
営業外費用		
支払利息	20,006	19,835
持分法による投資損失	834	-
その他	11,774	7,178
営業外費用合計	32,615	27,014
経常利益	501,657	562,479
特別利益		
保険返戻金	2,198	14,417
受取保険金	7,000	-
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	-	58,879
特別利益合計	9,198	73,297
特別損失		
固定資産除却損	80	1,694
その他	-	150
特別損失合計	80	1,844
税金等調整前四半期純利益	510,774	633,931
法人税、住民税及び事業税	182,980	203,646
法人税等調整額	20,342	52,595
法人税等合計	203,322	256,242
少数株主損益調整前四半期純利益	307,451	377,689
少数株主利益	-	-
四半期純利益	307,451	377,689

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	307,451	377,689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65,383	362,897
為替換算調整勘定	6,099	5,977
その他の包括利益合計	59,284	368,875
四半期包括利益	248,167	746,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	248,167	746,564
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
受取手形	78,835千円	125,381千円
支払手形	68,282	90,504

(四半期連結損益計算書関係)

厚生年金基金解散損失引当金戻入額

当第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

厚生年金基金解散損失引当金戻入額は、当社及び一部の連結子会社が加入する「東京紙商厚生年金基金」の解散に伴う損失の発生が見込まれておりましたが、平成26年11月に通常解散での認可がなされ、加入事業主の追加拠出が不要となったことから、第2四半期連結累計期間において全額を戻し入れたものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
減価償却費	206,717千円	238,569千円
のれんの償却額	33,083	22,055

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月27日 定時株主総会	普通株式	100,382	12	平成25年5月31日	平成25年8月28日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年8月26日 定時株主総会	普通株式	100,378	12	平成26年5月31日	平成26年8月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,246,365	19,242,932	29,489,297	25,967	29,515,265	-	29,515,265
セグメント間の内部売上高又は振替高	314,455	6,546	321,002	100,699	421,702	421,702	-
計	10,560,820	19,249,479	29,810,300	126,667	29,936,967	421,702	29,515,265
セグメント利益又は損失()	543,559	41,490	502,069	2,300	504,369	33,065	471,304

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 33,065千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成26年6月1日至平成27年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,557,285	18,457,770	29,015,055	28,784	29,043,840	-	29,043,840
セグメント間の内部売上高又は振替高	183,263	4,901	188,164	100,415	288,580	288,580	-
計	10,740,548	18,462,671	29,203,220	129,200	29,332,420	288,580	29,043,840
セグメント利益又は損失()	595,341	77,920	517,421	1,230	516,190	23,392	492,798

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額 23,392千円は、セグメント間取引消去額であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額	36円75銭	45円15銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	307,451	377,689
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	307,451	377,689
普通株式の期中平均株式数(株)	8,365,119	8,364,790

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年4月14日

小津産業株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 星野 正司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森田 祥且 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている小津産業株式会社の平成26年6月1日から平成27年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年12月1日から平成27年2月28日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年6月1日から平成27年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、小津産業株式会社及び連結子会社の平成27年2月28日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。